

令和6年度岩手県立一関第二高等学校第1回学校運営協議会【概要報告】

- 1 日時 令和6年5月21日(火) 14:00~15:30
- 2 場所 岩手県立一関第二高等学校 会議室1
- 3 出席者 学校運営協議会委員 9名 学校職員 7名

4 次第

- (1) 開会
- (2) 学校運営協議会委員の委嘱
- (3) 出席者自己紹介
- (4) 校長挨拶
- (5) 学校運営方針及び概況説明

ア 承認事項

① 令和6年度学校運営計画について(校長)

- 1 校訓・教育目標
- 2 スクールポリシー
- 3 魅力化協働化パートナー
- 4 目指す学校像

【委員からの意見】

目指す学校像の取組方針において、全教職員が子どもの権利条約等についての理解を深め、生徒の人権を尊重した指導を行うとある。今まで子供の人権問題はあまり取り上げられなかったので良いことだ。

② 6年度教育課程について(副校長)

イ 報告事項

- ① 一関二高 特色化・魅力化ビジョンについて(副校長)
- ② 一関二高教職員 働き方改革アクションプラン(副校長)

【委員からの意見】

中学校の部活動移行の動きは高校より進んでいるが、クラブチーム化の傾向や、学校の敷地の管理の仕方、指導員の確保など色々問題もある。そういう問題の可能性をよく理解して地域への部活動移行や連携を進めなくてはならない。

【委員からの意見】

一関二高のHPはとても充実していてよく発信している。校長の学校紹介も素晴らしい。一方でこういう発信が職員の働き方改革の負担にならないように願う。

③ 令和6年度年間計画について(各課主任)

【総務課】

- ・コロナ禍が明けて学校行事が本格的に再開した。入学式では来賓15名出席して頂いた。
- ・PTA各種委員会活動も活発に行いたい。6月のクラスマッチでは母親委員会企画で生徒への飲み物配付やパン販売を行う予定である。

- ・学校創立 117 年目を迎えた。120 周年事業も近づいてきた。同窓会と連携して準備したい。

【教務課】

- ・総合学科の特性を生かした教育課程の作成を行いたい。
- ・適切な系列の選択や職員の指導力の向上、生徒の学力の向上、家庭学習の定着等を図りたい。

【進路指導課】

- ・1, 2 年次の長期課外と 3 年土曜学習会を廃止にし、それに代わる 3 年次学習指導を行う。
- ・3 年次は 6 月の考査後から放課後課外をスタートさせる。小論文、志望理由書作成の指導を 6～8 月の土曜日に数回実施する。

【生徒指導課】

- ・交通安全と情報モラルについての指導をしっかりと行いたい。
- ・本年度初めて入学生の保護者対象に、警察に情報モラル講座を実施した。
- ・令和 5 年度は運動部、文化部ともに部活動で多くの活躍があった。しかし一方東北大会や全国大会の旅費などでお金がかかり、予算が苦しくなった。部活動への加入は任意となったが、未加入者の数は着実に増えている。
- ・いじめはしっかりした防止策や対応策を講じていく。
- ・女子の制服へのスラックス導入など制服変更を検討している。
- ・二高祭は本年度も昨年同様猛暑が予想されるため、1 日目金曜日は一関文化センターでの文化部発表とする。2 日目の土曜日は学校公開とする。

【委員からの意見】

昨年も「産業社会と人間」や「総合的な探究の時間」の在り方が課題だと言っていた。自分は福祉関係の仕事をしているが、関係者は学校とのコラボなどが出来ないだろうか考えている。

(6) 質疑応答及び意見交換

【委員】

盛岡などの会議に行くと、一関の地域活動者が表彰されている。しかしそれは一般に知られておらず残念である。生徒たちがもっと高校生を対象にしたイベントに行けないものか。活躍する地元企業のことを知るよい機会である。

【委員】

- ・職員の働き方改革を進めて欲しい。学校はストレスが多いと思う。
- ・同窓会 120 周年に向けて協力を頂きたい。

【委員】

自分の子供を含め、生徒は進路希望達成のために指導してもらっている。しかし進路希望がかなわなかった場合のフォローや、卒業後の相談などお願いできる体制を作って頂きたい。

【委員】

学校運営は地域とのつながりを持って進めることが大切。うまくマッチングができると思う。何か起こった時にどこに相談していいのかわからない。相談の窓口や解決につながる

る機関を調整できる部署が学校の中にあるといいのではないかと思う。

(7) 閉会